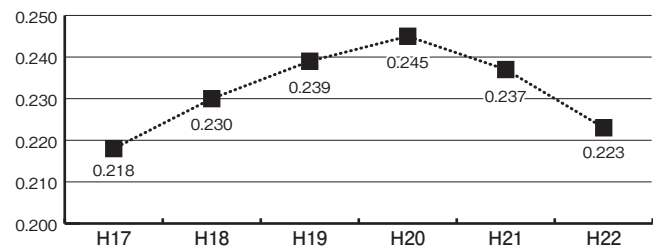


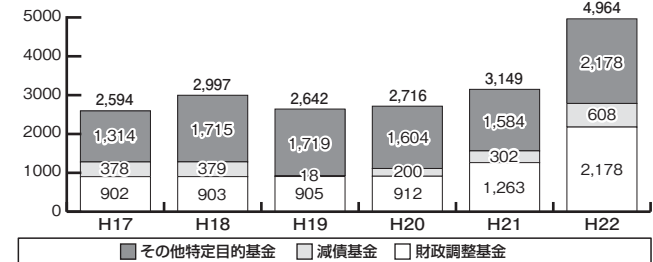
■財政力指数の状況

財政力指数とは、そのまちの財政力、町の体力を示す指標で、標準的な行政運営に必要な経費を、どれだけ自前（町民税など）で調達できているかを示すものです。数値が「1.00」以上であれば、100%自分たちのお金で町の運営ができることを示します。日高川町の場合、4分の1程度の経費を自前で賄い、その他は国、県などに依存しているということになります。



■基金の状況

基金は、まちづくりのために貯めたお金のことで、代表的なものに財政調整基金、減債基金があります。財政調整基金とは、経済不況などによる大幅な税収減や災害の発生などによる思わぬ支出の増加に備えて、剰余金を積立てておく基金で、減債基金とは借金返済のための基金です。



■健全化判断比率及び資金不足比率について

平成19年6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は毎年、4つの指標である「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表することになりました。比率が1つでも基準値以上となった場合は、健全化に向けた様々な取組み（健全化計画の策定、外部監査等）が、法律で義務付けられています。

平成22年度決算に基づき算定された日高川町の健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりで、すべて基準値を下回っています。実質公債費比率が高い数値を示していますが、建設事業に係る地方債の発行額を抑制するなど、公債費負担の適正化に取り組んだ結果、平成19年度の23.9%をピークとして減少してきています。

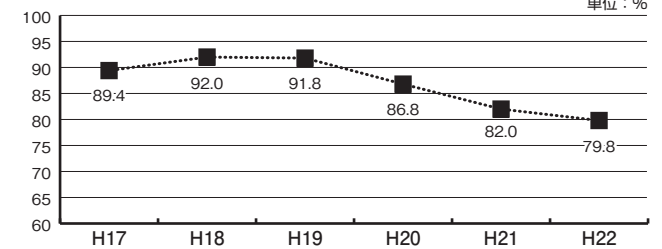
■健全化判断比率 (%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率(3年平均)	将来負担比率
日高川町	—	—	19.1	110.5
早期健全化基準	(14.20)	(19.20)	(25.00)	(350.00)
財政再生基準	(20.00)	(35.00)	(35.00)	

※（ ）内は、早期健全化基準及び財政再生基準※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合は「—」表示

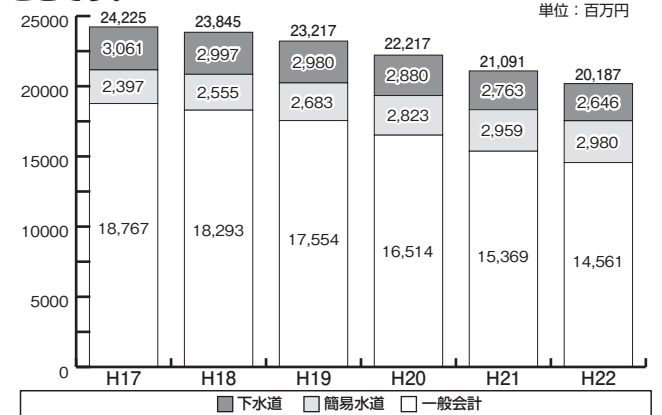
■経常収支比率の状況

経常収支比率とは、そのまちの財政の弾力性、お金の使いみちの自由度を表す指標で、毎年常に必要な費用（人件費、扶助費、公債費など）に対して、毎年常に入ってくるお金（町税、普通交付税など）でどれだけまかなえているかを見る比率です。比率が低いほど、自由に使えるお金も多いため、柔軟で弾力的な財政運営ができます。一般的に75%程度が望ましいとされています。



■地方債残高の状況

地方債は、いろいろな施設整備のために借りたお金のことで、



■平成22年度 一般会計・特別会計決算額

一般会計は、そのまちの中心となる会計で、基本的な行政運営経費を管理する会計です。特別会計は、特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別して個別に管理する会計です。各会計ごとの決算状況は、下表のとおりです。

会計	歳入	歳出	差引
一般会計	113億7,650万2千円	111億5,091万4千円	2億2,558万8千円
特別会計			
笠松農業用水及び公共用水管理運営	209万9千円	209万9千円	0円
国民健康保険事業	5億5,053万1千円	5億5,053万1千円	0円
川辺国民健康保険	2億6,533万4千円	2億6,740万9千円	▲207万5千円
国民健康保険事業川上診療所	9,181万2千円	9,181万2千円	0円
国民健康保険事業寒川診療所	7,561万8千円	7,561万8千円	0円
老人保健事業	16万4千円	16万4千円	0円
後期高齢者医療	2億3,357万4千円	2億3,283万8千円	73万6千円
介護保険事業	10億9,292万6千円	10億8,561万3千円	731万3千円
簡易水道事業	5億3,071万1千円	5億1,599万円	1,472万1千円
下水道事業	2億7,070万7千円	2億7,070万7千円	0円
川上財産区	31万2千円	14万8千円	16万4千円
寒川財産区	468万7千円	443万1千円	25万6千円
合計	144億9,497万7千円	142億4,827万4千円	2億4,670万3千円

22年度に取り組んだ主な事業

■定住と交流の基盤が整ったまちづくり

- 地籍調査事業……………3億4288万円
- 田舎体験、農家民泊等の移住交流推進事業……………329万円
- 町道新設改良事業（土生吹上線、大又岡本線、友淵線ほか）……………2億3,354万円
- 急傾斜地崩壊対策事業……………6億9,640万円
- コミュニティバスの運営関連（地域公共交通活性化協議会）……………1,792万円
- ケーブルテレビによる文字放送の配信……………287万円

■自然と共生する快適・安全・安心なまちづくり

- 地域グリーンニューディール事業（太陽光発電、木質資源利用施設整備）……………9,517万円
- 消防車両購入事業（小型積載車）……………1,064万円
- 簡易水道施設統合事業（早蘇地区、川中地区）……………3億7,390万円
- 携帯電話等エリア整備事業……………3億7,030万円
- 手すり・防犯灯設置事業……………328万円
- 防災行政無線整備事業……………1億5,513万円

■だれもが元気になる健康福祉のまちづくり

- 乳幼児・妊婦健診、ガン検診、検査・治療助成等各種保健事業……………4,600万円
- 介護予防給付事業……………3,806万円
- 学童クラブ運営事業（かわべ・なかつ）……………496万円
- 子ども医療費（中学生までの医療費無料化）……………3,437万円
- 町内4保育所の運営（かわべ、なかつ、みやま、寒川）……………3億119万円
- 出生祝金……………339万円

■豊かな心を育む教育・文化のまちづくり

- 太陽光発電設備事業（川辺西小・笠松小）……………4,903万円
- 空調設備、浄化槽設置等教育施設の整備……………7億2,388万円
- 文化財保護費（重要な文化財の保存・活用）……………40万円
- 雪国体験等の青少年野外活動事業……………150万円
- 「元気な森の子」事業（森林体験）……………43万円
- 公民館図書管理システムの導入……………517万円

■活力と交流に満ちた元気産業のまちづくり

- 地域振興対策事業（用排水路、農道等整備）……………597万円
- 農作物鳥獣害対策強化事業……………9,378万円
- 林道開設事業（株井白馬線ほか）……………8,665万円
- 観光拠点施設整備工事……………1,262万円
- 獣肉解体処理施設建築事業……………3,342万円
- 山の恵み総合活用事業（ジビエ料理PR活動費等）……………1,262万円

